

新潟県

平成6年

公民館月報

7月
第497号

特集 四季のアドベンチャーリーダー研修



真柄家の大ケヤキ（樺）

新津市真柄家の大ケヤキは、樹齢約八百年、樹高十六m、日通し幹周七、八m、平成五年一月市指定文化財に指定されました。樹勢旺盛で枝葉は四方に広がり、樹の下は昼でも薄暗い感じがします。



巨木は寡黙です
しかし「心」確かな
存在感をもっています

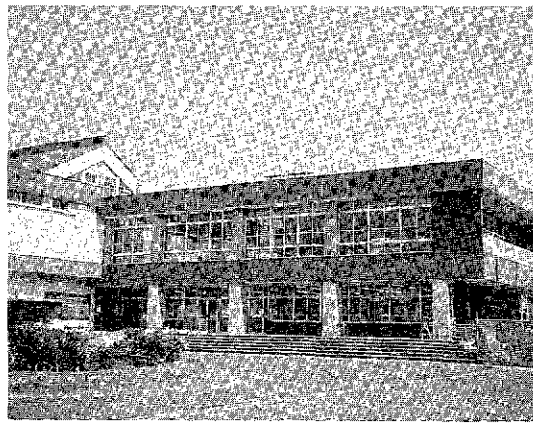
（資料・写真提供）

新津市中央公民館

新津市の巨樹・名木写真集

第二回理事會開催

優良公民館表彰は一館
永年勤続者表彰は九氏



新井市公民館

六月十三日(月)新潟中央公民館会議室において、第二回理事會が開催された。議題は、県公民館連合会表彰の選考及び全国公民館振興大会表彰者の推薦、本年度特設された運営検討委員会の委員選考についてであった。県公連表彰については、推薦のあった公民館一館、永年勤続者九名についてすべて適格と認められ

りを目指し、地域に根ざした活動の成果が評価されたものである。永年勤続者表彰については、表2に掲載してある諸氏である。心からお祝いを申し上げる。なお表彰は、米る七月二十九日(金)開催される第四十五回新潟県公民館大会(十日町市・市民会館)の閉会式において表彰されることになっている。運営検討委員会については、会長、副会長、事務局を選考委員として一任し、できるだけ速やかに選出して各地区の理事に報告するということになった。

新井市公民館 <表1>

沿革

昭和30年4月1日 開館

昭和43年4月1日 RC2階建新築

施設設備の状況

RC2階建 719.6㎡

事務室 213.1㎡

調理室 58.1㎡

講堂 124.3㎡

和室 50.2㎡

職員数

公民館長 1人(兼任)

公民館長補佐 1人(兼任)

南支館長 1人(専任)

職員 15人(専任2人・兼任13人)

生涯学習指導員3人(非常勤)

事業の主なもの

◆学級・講座

- ・すくすくあらいっ子学級
- ・市民大学講座
- ・ふるさとふれあい塾
- ・あらい女性プラン推進

◆活動・行事

- ・生涯学習推進リーダー(38名)設置
- ・生涯学習指導員(3名)設置
- ・おじゃまします交歓事業
- ・まつりんピックin南部(住民参加型)

表彰することに決定した。優良公民館表彰を受賞することとなったのは、新井市公民館であった(表1参照)。新井市公民館は「若者が定着し、豊かで活力のある健康福祉都市づくり」を

<表2>

平成6年度

新潟県公民館連合会

永年勤続者表彰候補

氏名	所属
長井 武雄	中蒲原郡小須戸町中央公民館
平間 甚一	〃
馬場 ヤイ	三条市大崎公民館
押田 紀代子	柏崎市鵜川公民館
田辺 正直	〃 大洲公民館
樋口 熊蔵	十日町市公民館
小山 哲夫	〃 吉田地区公民館
曾根 僚作	糸魚川市下早川公民館
比護 初治	〃

佐渡地区

公民館新任職員研修会

開かる

毎年、佐渡地区公民館連絡協議会では佐渡10カ市町村の新任公民館員を対象に研修会を実施している。本年度も6月16日(木)に、真野町で23名が参加して熱心に研修し、よく準備された会場で行われた。

学習と公民館「公民館の二面性」「新潟県の公民館機能の三重点」窓口業務は公民館の顔である。住民や学習参加者の接遇にとくに配慮すること「公民館の事業」などであった。

講義1は「新任公民館職員に望むもの」(県公連事務局)、講義2は「視聴覚教材の有効利用について」(佐渡地区視聴覚ライブラリー主事仲道 智氏)であった。内容として、

講義2は、アニメ「忘れるもなか(月に隣書のある子どもと保母さんの温い交流)」「他人の子を叱る」という映画を見て感想を述べ合い、丁度、真野町体育館で県展が開かれていたので、それを鑑賞して学習を終了した。

講義1は、県公連編集の「公民館経営の手引き」を中心になされた。まず「住民に最も近い職務で、ユリートであることを認識し、自ら燃えること」「生涯

十ヶ市町村で毎年交替で世話係を引き受け円滑に運営がなされている。今年度は小木町公民館で塚原悟主事が担当だった。

就任ご挨拶

新潟県教育庁生涯学習推進課
課長 岩根靖治

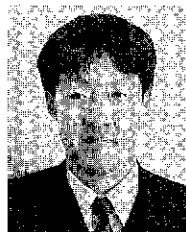
本年四月一日付けで、教育庁生涯学習推進課長を拝命いたしました。

議会や生涯学習センターの設置など生涯学習推進体制の整備が着実に進んでいます。

生涯学習に関しては、臨時教育審議会の答申以来、全国で

今後これらの成果の上に、何よりも学ぶ者の視点に立つた、きめの細かい施策展開が求められてまいります。

講座等の開催とともに学習相談の充実、ボランティア活動の振興などが今後の重要課題になると考えています。



生涯学習の答申以来、全国で様々な取り組みがなされておられ、本県でも生涯学習審

今後、微力ではございますが新潟県の生涯学習・社会教育の発展のために努力して参りたいと思っておりますので公民館連合会の皆様方のご支援をお願い致します。

視点

恩師加藤信治先生が遺された教えであり、私は座右の銘としている。
当館講座「菜園園」



「この秋は雨か嵐か知らねども今日の務めの田草取るらん」
これは、高校時代の

「この秋の学級生とおしゃべりしながら、よく草むしりをする。中腰で続ける作業は足腰のトレーニングとなつて、私の書の学習に役立ち枚数が稼げる

がっている。さて、一人で草むしりの最中に不思議と頭

動から得る貴重な技能や、リーダーシップをもち、やすらぎとゆるいのある創造性豊かな緑の郷の実現を期待できると思う。

公民館人の夢

六川猛夫

けれども、実の処は県展落ちの常連なのだ。しかし、そんな作品でも知人にあげて、これが私流の「一本刀土俵入り」なり、と意気

板のアイデア、時には憶えただての演歌が仕上がったりしてくれて、汗流しながら館運営の充実を夢みている。又、村民が、学習活

私と「公民館のあるべき姿と

「公民館活動見直しのひとつのマト」 石橋 馨



公民館に編集作業を経て、ようやく刊行するに至った。公民館職員及び公民館関係者を主体に自治体行政者・学者等が一体となり、全国規模で組織的・計画的に心血を注いだ、中味のある文献と評価している。

公民館に集う人の顔や公民館職員の姿を思い浮かべ、高齢化・情報化・国際化が進む現代社会を頭におきながら、一方昭和四十三年発行の「公民館のあるべき姿」と今日の指標・解説」(以下解説という)を参考にすることがある。

ひろば

昭和二十四年社会教育法の施行により公民館が誕生し、昭和三十四年国の補助金が増額し始めた。昭和三十八年進展する社会に即応した公民館運営の方向づけが示された。

今日、公民館事業の見直しが求められている。目先の手法だけにとらわれず、私達の先輩が情熱を燃やした財産「解説」を時にひもとき、公民館活動見直しの、ひとつのマトとして、基本的なものを失わないよう自戒している。

公民館創設以来あらためてあるべき姿が求められた。以上のような国の施策に即し、公民館側は昭和三十八年から三か年をかけ、大がかりな調査、研究を重ね試案を作成し、全国大会でさらに研究討議を積み成案をまとめた。

その後、五次にわたる解説の

(中郷村公民館長)

(長岡市公民館運営審議会委員長)

執筆者紹介

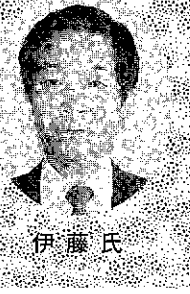
伊藤高氏は新潟市在住で、昭和 38 年以來、約 30 年間、社会教育ひとすじの道を歩いてこられた。平成 4 年度には、韓国へ、平成 5 年度には中国への視察に参加され、国際的な視野を広げられてきた。

特に「青少年の体験活動の重要性」を訴え続けられ、高い認識をもって幅広い実践を重ねられてきた。

このたび、シリーズ「くらしの課題を追って」で未来を託す日本の少年期に不足しているといわれている体験学習のプログラムとその展開の方法を執筆していただいた。

の課題を追って
たくましく育てよう

伊 藤 高 氏



伊 藤 氏

はじめに

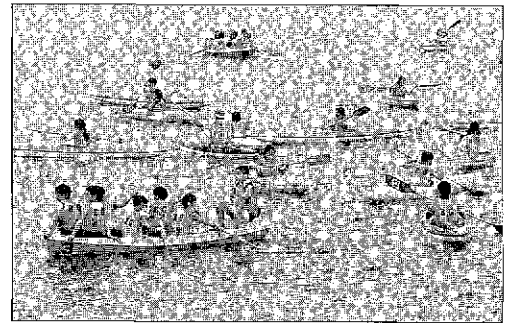
鳥屋野地区公民館の概要

鳥屋野地区公民館のサービスマニアは面積 15 町、人口約六万三千人、新幹線開道と同時に駅南口周辺ショッピング街が急速に発展した街。農家と新興住宅の割合は 1 対 9。転出入は市内全体の約二割を占める移動の激しい地区で 20、40 歳代の働きざかりで子育て中の家庭が多い。職員は館長と専任職員二名、嘱託一名の四名、外に夜間管理人二名である。平成 6 年度も発達段階別に 56 の主催事業を予定しているが、中でも最も力を入れているのがこれから述べさせて頂くアドベンチャーリーダー研修会である。

平成 6 年度のアドベンチャーリーダー研修会は別表の要項により実施する予定である。以下アドベンチャーリーダー研修会を実施する際の基本的な心構え、子どもに対する願いなどを中心に筆をすすめたい。

●あたりまえのことをあたりまえにできる子どもの育成
アドベンチャーリーダー研修会はあたりまえのことをあたりまえにできる子どもの育成を主眼として、野外活動の経験を通して、自分の寝る場所は自分で確保する(テントの設置、撤収)自分の食事は自分で作る

はじめに



(野外炊飯の習熟)、後始末の撤底がそれである。特に最後の後始末は次に使用する人々のことを考えて、炊飯用具などは何度もやり直しを命じ、きれいにしてから返却している。テント周辺の清掃等についても同様である。

●親の過剰な手出しは子どもをだめにする。
野外活動に参加の際、子ども達はいろいろな持参品をリュックに入れてくる。このうち最も困るのが自分の持ってきた品物の所在がわからないことである。これは親が品物をつめるからである。年度頭初の開講の際のオリエンテーションで「親はせいぜい品物に持主がわかるよう名前をつけるだけにしてく

ださい。リュックつめは子どもにさせてください。と厳しく言っている。また自分の子どもが心配でキャンプ等に参加したい、という申し出もお断りしている。



●事故防止には全精力を
たとえ一泊二日でも、またプログラムがどんな容易な内容でも事故防止には万全の注意を払っている、人間が主人公であるので当然といえば当然のことであるが、自然を甘くみては手厳しいしつべがえしを受ける。さりとして敵しいだけの管理キャンプにしたら子どもの息がつかまってしまふ。楽しさと敵しさの呼吸をどう合わせていくか、むづかしいところである。

●歳の近い先輩達との交流
アドベンチャーリーダー研修会の参加者は小学校三年、六年の約六十人であり、鳥屋野地区内の六小学校は勿論のこと、地区外からも多く参加している。最もうれしいことは、中学生、高校生、大学生、社会人が積極

●国際交流の思い出
平成 5 年度の夏のキャンプはロシアのウラジオストクの子ども達も参加しミニサイズのながら国際交流キャンプの趣があった。しかし言葉の違い、習慣の違い、文化の違いはいかんともしがたく「線香花火」の火の玉を手の平で受ける子ども、説明を最後まで聞かずにかまーに飛

互いに甘えあつて教育効果を減殺するからである。スタッフ、カウンセラー、ジュニアリーダー、アドバイザーはそれぞれそそ寝食を忘れて子ども達のための指導にあたってくれる、本当にありがたいことである。

的に参加、協力してくれることである。かつてこの研修会に参加した人達である。その殆どが過去に世話になった恩返しを今度には後輩達の指導をすることで報いたい、というありがたい申し出であり、公民館も喜んで協力してもらっている。歳の近い先輩との交流は大人のそれとは違い子ども達も気楽に相談し、談笑している、心温まる光景が随所で見受けられる。

シリーズ 暮らし 野外活動で青少年を

新潟市鳥屋野
地区公民館長

び乗ったりする子どもが続出した。その都度、新潟弁で注意したが新潟弁の響きがかっこいい語の発音に近いのか誉められたと思っただけで注意なんていうものではなかった。

●バラエティに富んだプログラム
鳥屋野地区アドベンチャーリーダー研修会は春夏秋冬の四回のキャンプを実施している。春のキャンプは中条の県少年自然の家で主に野外活動の基本的知識・技術の習得を、夏のキャンプも会場は中条の県少年自然の家で海洋スポーツ「カヌー」と「ローボート」を体験する。

秋のキャンプは新潟市青少年三川自然の森を会場に子ども達の創意・工夫で「夜店」を開かせる。これは子ども達の経済的な感覚を養うのに大いなる効果を発揮している。冬のキャンプは国立妙高少年自然の家を会場に「ノルディック・スキー」と「雪洞作り」などを体験する。このように四季に応じた。しかも日頃体験できないプログラムを中心に組んでいる。子ども達は真険に、また熱心に関心を持って取り組んでいる。

●活動報告集の作成

キャンプの都度アンケート調査を実施し次回のキャンプの参考にしている。また全キャンプ終了後、保護者の感想、子どもたちの生の声を聞き、報告集を作成している。その一部を紹介させていたたく。

白い雪とキャンプファイヤー

二班 山宮隆広

春・夏・秋・冬のキャンプがあります。春のキャンプは三年目なのでがんばっていきたいと思いましたが、一回が小ボス、一回が大ボスでした。夏の小ボスは自分なりにできました。カヌーがとても楽しかった。ウラジオストクの人達との交流会、キャンプファイヤーなど、もり沢山で充実していたと思

ます。カヌーはこいで流された時などスリルがあり、だんだん上手になってきています。

秋のキャンプが一番好きです。特に夜店が一番楽しかったです。初めてロブハウスに寝たことや栗ひろいがありました。冬のキャンプでは、ノルディックスキーやボブスレーやキャンプファイヤーもあつた。冬のキャンプファイヤーは白い雪の上でもきれいでした。来年もアドベンチャーに入ったら、今までの失敗を生かしてがんばりたいと思います。

保護者 山宮美保子

アドベンチャーリーダー研修会に参加してあつたという間に三年がたちました。四季の自然の中、家庭では経験できないことに挑戦できることは最大の魅力です。また、学校や年齢の違つた人達と触れ合えることは、現代の子どもの世界ではとても貴重なことだと思います。最初はとても心配でした。親も励ましく続け、回を重ねるごとに楽しく参加できるようになりました。スタッフの皆様には本当に感謝申し上げます。私は自分の子は勿論、他の子ども達にも関心をもち温かく見守る親でありたいと思つていきます。

●むすび
この研修会が長期間継続出来たのも梶瑠子氏(東地区公民館長)の力に負うところ大であった。誌上を借りて御礼申し上げます。

(平成6年度)

アドベンチャーリーダー研修会要項

～野外活動でたくましくなろう～

- ★春・夏・秋・冬のキャンプ体験を通してたくましく青少年を育成します。
- ★対象者 小学生3年生～8年生 60人
- ★研修日 毎週日曜日の午後2～4時 4/23～翌年3/25計20回
- ★参加費 受講費として年間1,000円 他に実習に伴う材料費(その程度)
- ★実習費の予定は 春：7,000円 夏：5,000円 秋：3,000円

- ★リーダー研修会5つの約束
- 1、やまないで参加すること。
- 2、自分だけの力で解決すること。
- 3、自分ひとりで解決すること。
- 4、人への迷惑はなるべく減らすこと。
- 5、【目的】

- ① 自然の理解
自然の恵みを感じる。自然の恵みや美しさ、驚きなど実際に体で感じること。自然の恵みを感じる。自然の恵みや美しさ、驚きなど実際に体で感じること。自然の恵みを感じる。自然の恵みや美しさ、驚きなど実際に体で感じること。
- ② 自己理解
自分自身を知る。人間関係を学ぶ。他人との共同活動を通して、人と人とのありかたや協力力と協働力とはどんなことなのかを具体的にその任や役割の立場、社会生活のルールなど、よい人間関係のありかたや、協働性、社会生活のルールなどを学ぶ。
- ③ 生活技術の習得
日常生活から学ぶ。日常生活を通して、日常生活では使われないが、自然の恵みを感じる。自然の恵みや美しさ、驚きなど実際に体で感じること。
- ④ 野外活動の楽しさを知る
野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。
- ⑤ 野外活動の楽しさを知る
野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。
- ⑥ 野外活動の楽しさを知る
野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。
- ⑦ 野外活動の楽しさを知る
野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。
- ⑧ 野外活動の楽しさを知る
野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。野外活動の楽しさを知る。

アドベンチャーリーダー研修会プログラム

～キャンプの楽しさを体験しよう～

回数	月 日	テーマ・内容	講師・助言者	備考
1	4/23(日)	開会式・オリエンテーション キャンプ生活の基本とリーダーの役割	日ノ上 上級指導者 佐藤 忠	公民館
2	5/14(日)	料理実習(カレーの作り方) 春のキャンプ計画	キャンプ指導者 青森 秀子	〃
3	5/21(日)	春のキャンプ実習(テントの立て方・しまい方) 野外料理(ナイトリョウ)	キャンプ指導者 スタッフ	中条少年自然の家
4	6/11(日)	春のキャンプの反省・レポートワーク	ボイスアカデミー 池 良典	公民館
5	6/25(日)	夏のキャンプ計画・食事、活動、とグループワーク	キャンプ指導者 スタッフ	〃
6	7/9(日)	夏のキャンプ計画(食べくら)	〃	〃
7	7/23(日)	キャンプに向けて・しおり・旗連絡	〃	〃
8	7/27(日)	夏のキャンプ実習 カヌー・オリエンテリング他	樋口小長谷川 他	中条少年自然の家
9	8/下旬	海上クルージング	新潟海浜広域協議会	佐藤 忠 西澤 公民館
10	9/10(日)	秋のキャンプ計画・夜店の計画	キャンプ指導者	〃
11	9/24(日)	秋のキャンプ実習・自然祭 旗・夜店	長谷川先生 池 良典	三川少年自然の家
12	10/8(日)	ハイキング 秋の自然をたずねて～キャンプ指導者	津川・山の家	〃
13	11/12(日)	(室内ゲーム)オセロ将棋	老人クラブ 小池 隆徳	公民館
14	12/10(日)	クリスマス会準備・プレゼントづくり	キャンプ指導者	〃
15	12/24(日)	アドベンチャークリスマス会 クイズ・ゲーム・プレゼント交換	〃	〃
16	1/14(日)	冬のキャンプ計画・キャンプの意義	〃	〃
17	1/28(日)	冬のキャンプ・道具・しおり の説明	〃	〃
18	2/11(日)	冬のキャンプ実習・雪上運動会 雪洞作り・ノルディックスキー 他	〃	公民館 中条少年自然の家
19	2/25(日)	冬のキャンプ反省(ビデオ視聴)	〃	公民館
20	3/25(日)	閉会式。1年を振り返って	〃	〃

スタッフ：谷田 英子・増原 秀子・白沢 行子・小池 栄子・酒井 孝子 他
カンセツ → 高校生・新潟大生、青森短大生
ジュニア → 中学生
アドバイザー → 佐藤 忠先生(公民館教頭)
野外活動、スキー指導 → 長谷川 智先生(樋口小) 他

実践事例

青少年健全育成に情熱を燃やす

上林地区(三条市)の活動

剣道教室 上林館

上林分館は、市街地より約五キロ離れた農村の二つの集落の中心にあり、上林小学校と道路一つへだてて向い側にあります。

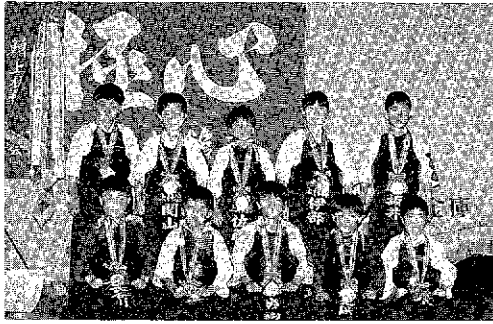
分館活動の中には色々ありますが、ここに異色の剣道教室をご紹介します。県内や県外でも剣道をしている学校や道場はたくさんありますが、公民館活動としての剣道教室はこの上林分館だけです。六年前にこの上林分館が完成した時にどんな生涯学習教室を設けるかと地域の人からアンケートを取りましたところ、一剣道、二書道、三花道、四茶道という順でした。以来今日まで水曜日、金曜日、日曜日と少年剣士達の激しい気合が轟き渡っています。

真夏の暑き日も寒さの厳しい冬の日も、雨や吹雪の日も午後七時より九時まで激しい稽古に汗を流しています。幼稚園の年長組から小学生、中学生、高校生、青年、そして父兄まで一生懸命に頑張っています。上林館という名は、地域の石上、栗林の町名を一字ずつ頂き

剣道教室のなまえにしておりあります。剣道教室には、礼儀、健康、根性、友情の四つの強い教訓があります。剣道教室に入った時には礼も出来なかつた少年が一月もすると立派に礼も出来て面、甲手、胴の気合も出るようになり、道具を付けるとたくましくりりしい少年剣士になります。稽古を終えて正座する、そ

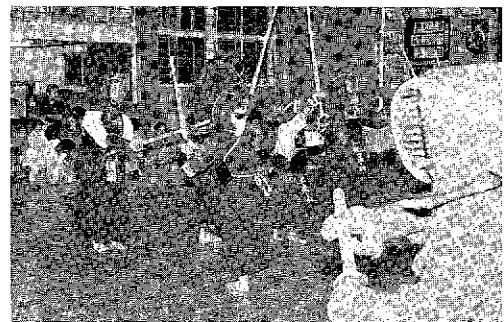
して面を取ると汗が一度に出てきます。その汗を拭く時の顔は、素晴らしい感動の顔に燃えています。そして、館長の私が、ご苦労でしたよく頑張ったと、励ましの言葉をかけますと、少年達は、自分達の稽古の健闘を確かめながら明日の勉強に、剣道に闘志を燃やしてくれます。頑張ったいる少年剣士には楽しいひとときがあります。それは地域の農家の父兄の方が自分の畠で作った西瓜やイチゴの差し入れです。分館前で西瓜を切ってみんなが大サービスです。わざわざ今夜のために冷やして下さる父兄の暖い心に私達は喜びと感謝とで胸が熱くなります。大きな口を開けて食べます。西瓜、夜の星が特別に輝やいて

県央(吉田町)少年剣道大会で優勝した上林館チーム



いるようです。誰れかが田舎剣道と笑うだろうと思います。少年達と父兄、そして指導する先生の心が一つになればキツト素晴らしい明日への道が開けると思っています。私は公民館活動の責任と素晴らしいさを痛感しております。上林館剣道教室は月謝は不要で分館より補助金を少々頂

毎夜厳しい練習の少年剣士



いております。剣道ばかりでなく時々楽しい行事もあります。県内の近い所へ交流試合にも出掛けます。又近郷のチームも交流に来て頂いております。良い勉強になります。

◎ヤツタ!!運動会の活躍

五月二十九日(日)上林小学校の大運動会です。私も招待を受け応援に出掛ました。上林館に通う小学生は、私の顔を見るとVサインを送り健闘の誓いをしてくれます。赤軍の応援団長は何と剣道のキャプテン、白軍の副キャプテンも剣道で鍛えた大きな声、校長先生は新任で初の運動会で感動しておられました。走るトップは剣道教室の少年ばかりです。

◎栄光は上林館に輝く!!

昨年六月に県央少年剣道大会(吉田町)が開催されました。上林館剣道教室も堂々と出場し、毎回の練習を休む事なく頑張った事が実り、中学年の部で優勝、参加一〇四チームの中に頂点に立つ事が出来ました。又低学年の部は決勝で破れ準優勝です。汗と涙のにじむ努力の結晶です。公民館剣道でも勝てる。地域の方々が公民館を愛して、色々な行事に全力をそそげばキツト素晴らしい花が咲くと信じています。優勝旗を握って声を出して泣いた少年達、汗だらけの笑顔で声にならない、感動と喜び、少年は生涯の中に小学生時代の思い出を大切にしてくれると思います。公民館には多くの教室があります。その一つ一つに地域の方々と力を合せてこそ出来るのです。三条市の片隅にある分館ですが遠く守門の山や弥彦の山を仰ぎ緑の豊さに恵まれて育つ少年達、私達は剣道だけでなく、すべての事に心を燃やす事が大切です。青少年健全育成を目的に開いた公民館剣道教室上林館を紹介致しました。

(三条市中央公民館)

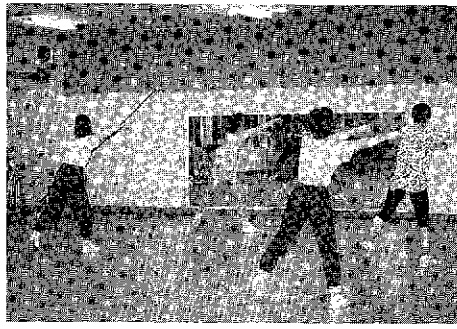
上林分館長 (剣道師範)小日向 満

サークル交流

さわやか!

小国町エアロビクスサークル

さわやかレディールス教室として平成3年にスタートしたエアロビクス。講師は体育指導委員の山田さんです。現在は会員も20名を超え、独立したサークルとなつています。スタート当初、鍵の管理の関係で立会っていたのですが、「一緒にやってみませんか。」と言われ、その気になって一時間汗を流し(半分冷や汗)翌日、ひどい筋肉痛になったことを覚えています。器具などは



使いませんがハードなスポーツであることを身を持って体験しました。山田さんは、どうして最後まで笑顔で踊り続けられるのか? 恐るべき体力だ(失礼)。現在は週一回、夜一時間半の活動ですが、さらに会員を増やし、週二回程度実施したいとのこと。おじゃました日も、女性の熱気に圧倒され、シャッターを押す手も震えがちでした。美と強さを兼ね備えたこのエアロビクスサークルのますますの発展を願ってやまないのは、この私だけだろうか?

(小国町教育委員会 田中 功)

学ぶよろこび再び

とよさか中高校教養大学

ふえる余暇時間の有効活用、天から与えられた長寿社会の生きがい対策に、いわば人生のリストラとして公民館の指導のもとにはじめられたのが「とよさか中高校教養大学」。

学生数は、四〇歳代〜八〇歳代まで年令不詳も含めて五十四名、学習は、平成四年十一月の開講以来月二回、第二土曜日は政治、経済、法律等の一般教養、



第四土曜日は源氏物語、園芸、郷土の歴史、スポーツレクリエーション等の選択科目である。陶芸の希望も多く出されているが、公民館の窯に限度があり希望が満たされていない。学習にゆとりをもたせるために花見の宴、山さいを食べる会、ミニ運動会、修学旅行、月見の宴、忘新年会、修業謝恩会等ふれあいの場ももっている。人生は生涯勉強というが、自分のすきなことを仲間と学ぶということはずばらしいことである。豊栄市の生涯学習の標語は「であい、ふれあい、まなびあい」である。

(豊栄市生涯学習推進市民会議 委員 とよさか中高校教養大学代表 貝沼英樹)

十日町市公民館本館主査(司書)

大口 たか江 氏

今年の四月に新採用された：といってもまだ通じそうな若くて素敵な女性です。税務課・市民課を経て、九年振りに公民館に戻ってきました。



特に平成九年度オープンの情報館整備のため、年間五

可書の資格を生かし、公民館図書室や自動車文庫を主に担当しています。図書購入については各地区館からの信頼も厚く、

千冊を超える本の受け入れを一手に引き受けています。

この他幼児家庭教育学級も着任早々担当しています。参加している母親や幼児達と気軽に接し、ボランティア講師の方々の評価もうなぎのぼりです。

小学校一年生の長女の初めての運動会が仕事とかさなり「そっけん、しょうがねがね」と方言まる出しで、明るく答える小さな口の大口たか江さんでした。

(十日町市公民館主査 鈴木 規幸 記)

素顔 拝見

加茂市公民館主事

中野 徹 氏

新規採用と同時に公民館に配属され、二年目を迎え、仕事にも慣れ顔もだいぶ広くなってきました。

遅ればせながら、当市も漸く建物を持つ公民館として平成五年八月から再スタートしました。



いますので、毎日、帰りは遅いし、時には土、日も仕事で潰れるので、なかなか自分の時間が無いと思います。そもそも公民館は、生涯学習の最先端を担っており、人々との関わりが最も大切です。その点、彼は、人当りは良いし、やさしいので利用者の間でもなかなかの人気です。若さを武器にいろいろチャレンジして行くことでしょう。

行政機構の古い慣習に捕われることなく、伸々と自由に仕事に恋に頑張っていくことを期待しています。彼には、建物の管理・成人式・育成協議会の事務局・各種講座を担当して貰って

(公民館館長 中山 隆夫 記)

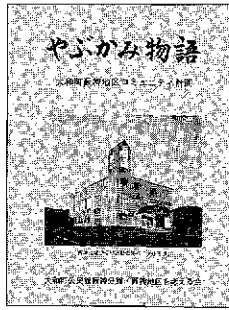
惠贈資料紹介

やぶかみ物語発刊

大和町公民館藪神分館
藪神地区を考える会



藪神地区コミュニティ
計画づくりをめざし
て策定したものが完成
した。人間部会・産業
部会・環境部会の課題
の他、藪神地区への思いがあふ
れている93頁の大作(☎〇二五
七・七七・四六七一)



全国公民館研究会(17回)秋田大会
視野をひろげてみませんか!

第17回全国公民館研究会が
開催されます。

全国の公民館関係者が一堂に
会し、生涯学習の中核施設であ
る公民館の豊かな実践活動の交
流を通して、公民館が当面して
いるさまざまな問題について研
究協議を進め、公民館活動の一
層の充実・発展を図る大会で



手がきの公民館だよりつぎつぎと

加茂市公民館
十日町市公民館青年学級



十日町市

活字印刷が目が馴れすぎて、
読む意欲がなくなりそうな広報
の洪水の中に、四月に、このよ
うな、ぬくもりのある手がき手
づくりの新聞がとどいた。
加茂市の公民館だよりは、う
らおもてをうまく使って、公民
館の担当の紹介、窓口へ気楽に
来たくなるような案内、事業、
講座、つどいへのいざない等を
全職員が原稿を書いて愛情こめ
て編集し、黄・ピンク・竹みど
りで、毎回用紙の色を変えて親
しみやすいものになっている。
十日町市公民館の青年学級の
の委員が計画し、編集し、手書
きして、自分たちで印刷整本し
ている。大勢の人物を、インタ
ビューやアンケートで登場させ
ているのも組織的にすぐれたア
イデアである。
つどいのあとの感想や評価を
載せたり、学級の模様や、予定

新潟県は中条町中央公民館が基調発表

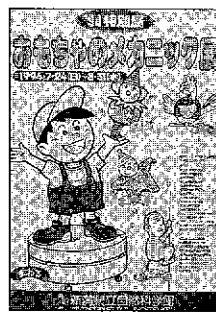
す。当県からは、
基調発表 北蒲原郡中条町
中央公民館長 八幡博昭氏
がされます。

新潟県発表分科会名 12
「国際理解と公民館活動」で、

②討議の視点は「公民館におけ
る在任外国人に対する教育サー
ビスの在り方を探る」です。

会場 秋田市文化会館
会期 平成6年10月20日21日
参加費 三、五〇〇円
参加締め切り 7月20日(※)
詳しくは、県公連事務局にお
問い合わせください。
全国公民館連合会及び県公連
としては多数の方の参加をお願
いしたいと思っています。

してある事業への参加の呼びか
けも今様で、参加意欲をそそる。
10ページもあるが、あっとい
う間に読ませる。まだ手がき手づ
くりの広報を発行している市町
村公民館もあると思われるの
で、そのうちに交換交流が生ま
れてくるように県公連は期待し
ている。



おもちゃのメカニックス展へ
どうぞ!

主催 (財)新潟県文化振興財団
新潟県立自然科学館

94特別展 おもちゃのメカニッ
ク展
開催期間 平成6年7月24日(日)
8月31日(※(34日間))

会場 新潟県立自然科学館
内(エントランス
ホール)

新潟市女池字蓮瀉 ☎〇二五・二
八三・三三三

この展覧会は、始め「動き」
次に「手にとる」「動かす」「し
くみを理解する」「面白い」「不
思議だ」と思い、「なぜだろう」

と考え「分かった」となるのを
主催者側は期待している。
現代生活に広く応用されてい
るコンピューター、レーザー術
にいち早く適応する青少年には
楽しみながら学習するよい機会
になるので全公連としても見学
を奨めたい。

あとがき

◆梅雨入りの前後は、空だけで
なく、政治、経済、社会、自然
界にも様々な事件が起きた。
公民館関係者も多忙な六月
だったのに、多数の資料や情報
を提供していただき感謝する。
◆県公民館大会があと十日余日
に迫った。引き受け地区の事務
局と県公連は準備で大わらわで
ある。大会の成功のために公民
館関係者の皆様のご協力をお願
いする。(鴨井 記)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (025) 224-6073】

発行人 会長 細川 仁

編集人 事務局長 鴨井 三郎
【定価1部130円 年共・年極1,560円】